

2026.9.24

ぐんま森林経営管理サポートセンターでは、県桐生森林事務所担当者にも同行いただき、桐生市役所を訪問し、ヒアリングと意見交換を実施しました。



新築から数年の市役所庁舎はモダンな作りで、木材もよくあしらわれていました。

市のキャラクター【キノピー】は桐生市の産業遺産であるノコギリ屋根工場をモチーフにしています。



また、シンボルツリーのサルスベリは、旧庁舎の40年以上前に桐生川ダム建設地から移植されたもので、新庁舎にも引き継がれています。

桐生市では現在、これまでに実施した意向調査結果をふまえ、4つ林班(4地区)で森林経営管理集積計画案を作成されており、今後公告縦覧を進める段階にあります。

意向調査に関しては、森林経営管理制度の開始当初にきめた実施順序があり、基本的にはこれに準じてすすめてきています。

経営管理集積計画の策定予定地での、実施権配分と実際の森林施業実施については、森林経営計画の対象となることが実質的に不可欠であるので、市から林政アドバイザーを委嘱されている、桐生広域森林組合及びわたらせ森林組合の構想をすりあわせる必要があることから、サポートセンターとしても両森林組合の意向を直接に確認するとことしました。

また、桐生市では隣接するみどり市とあわせ、森林組合以外のプレーヤーも積極的に森林経営計画を策定し施業実施していることから、これら事業体の今後の事業構想も同様に確認する必要性も認識したので、サポートセンターとしてもうまくコミュニケーションをとってまいりたいと考えます。

